

ねらい：国語辞典を引くよさに気づき、調べたい事柄を調べることができる。

時	学習活動	教師の支援など（担任、司書教諭、学校司書）
一 日 目	<p>1. 担任の先生からの紹介</p> <p>2. 司書教諭の話 今日の学習のめあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>国語辞典の使い方名人になろう</p> </div> <p>3. 国語辞典をつかう目的を考える。 A国語辞典をつかうと、以下のことが分かる。 ①言葉の意味 ②言葉の使い方 ③漢字での書き表し方</p> <p>4. 国語辞典を使ってみよう B「見出し語」見出し語は50音順に並んでいる</p> <p>C見出し語を早く見つけるために「つめ」「はしら」がある。 ①つめを使って、その言葉が載っている大体のページを探す。 ②大体のページにたどり着いたら、柱を見て言葉を探し当てる。 ※練習問題を行う。ワークシートへ</p> <p>③感想交流</p>	<p>・国語辞典をつかうととても便利だったことを思い出してもらい、大人になっても使うことを知らせる。また、国語辞典が引き方は、百科事典や他の辞典にもつながっていくことを知らせ、意欲を高める。</p> <p>・辞典の拡大コピーを準備</p> <p>※児童の意欲を高めるために、担任は児童と一緒にあって、活動に取り組む。</p> <p>・つめとはしらの用語マグネットを準備 ・つめとはしら部分の教科書の拡大コピーを準備 ・調べる時には、1文字目、2文字目、3文字目と順を追って、みんなで確認しながら進める。 ・担任、学校司書は支援が必要な児童へ支援する。 ・ワークシートの準備 ・分かっているつもりの言葉も国語辞典で調べることができることを知らせる。</p>
二 日 目	<p>1. 見出し語の並び方を確認する。 復習：次の文字を50音順に並べましょう。 はる、なつ、あき、ふゆ</p> <p>①「ホール」「ボール」「ポール」はどの順番で並んでいるでしょうか。 清音→濁音→半濁音の順で並んでいる。</p> <p>②「ケーキ」を引いてみよう。 ・長音は声に出したときの「あいうえお」で置き換える。 「ケーキ」「ケイキ」、「カード」「かあど」</p> <p>③「書こう」という言葉を引いてみよう。 →見出し語がない。「書く」に変換する。 練習問題 教科書27ページ①どちらが先？ 「じゅう」「じゅう」、「くらす」「クラス」 「バレー」「バレエ」 練習問題 教科書27ページ② いくつかある意味のどれがあてはまるか</p>	<p>※「清音」「濁音」「半濁音」をいう言葉を抑える。児童に予想させ、答えは実際に辞書を引かせる。 ※実際に引かせてみて、困り感を共有する。</p> <p>※教科書の拡大コピーを見せる。</p>